

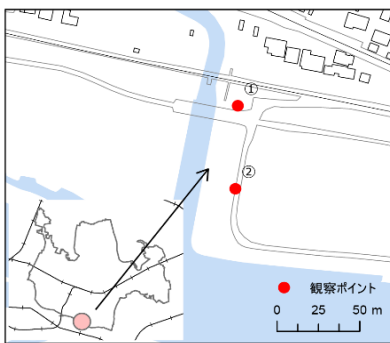
全体総括

令和元年度、環境モニター、植生調査（夏、秋の2回実施）では2地点の定点調査地点で合計29種の植物の生息を確認することができた。内訳は低茎草地（第1地点）では16種、高茎草地（第2地点）では13種であった。両地点で共通して生息が確認された種はマメグンバイナズナ、1種のみで、他の種で2地点間で共通して生息するものは認められなかった。外来種と在来種という観点から両地点を比較すると両地点とも外来種の構成割合が60～70%となり在来種の生息を外来種が凌いでいることが分かった。高茎草地（第2地点）は令和元年9月の台風被害により流失してしまい今後同等の比較調査が困難となった。

観察ポイント①の特徴	観察ポイント②の特徴
用水に隣接する堤防の裏面下部の平地で、遮蔽物がないため日当たりがよく、風当たりが強い地点である。本地点は定期的な草刈がおこなわれているため、植生環境が安定しない地点となっている。	高茎草地である等地点は草刈がおこなわれず一見安定した草地と考えられる。本年は前年観察されたアレチウリの生息は調査時点では確認されなかった。

回数	調査日	地形	郡系	草	面積(m×m)	2×2	地形	平地	郡系	草	面積(m×m)	1×3	
第1回	2019/7/6	風当	強	日当	陽	土湿	適	風当	中	日当	陽	土湿	適
第2回	2019/11/10	〃	強	〃	陽	〃	適	〃	中	〃	陽	〃	適

調査地位置図



写真



アカツメクサ他
(第1回・観察ポイント①)



セイバンモロコシ
(第1回・観察ポイント①)

1地点 土手上刈り込み草地確認種の比較結果

2地点 河原高茎草地確認種の比較結果

	2017/5/1	2018/7/1	2019/7/1
メヒシバ		○	○
キンエノコロ	○		
シマスズメノヒエ		○	○
コセンダングサ		○	○
ヘラオオバコ		○	○
シロツメクサ		○	○
オッタチカタバミ	○		
チカラシバ	○		
カゼクサ		○	○
カラスノエンドウ	○		
ヒメジョオン		○	○
アカツメクサ	○	○	○
カタバミ		○	○
マメゲンバイナズナ		○	○
セイバンモロコシ		○	○
ヤハズノエンドウ		○	○
アオカモジグサ		○	○
ネズミムギ		○	○
エノコログサ sp.		○	○
コメツブツメクサ		○	○
種数合計	5	16	16

	2017/5/1	2018/7/1	2019/7/1
コセンダングサ	○		
メヒシバ	○		
キンエノコロ	○		
シマスズメノヒエ	○		
ヘラオオバコ	○		
シロツメクサ	○		
オッタチカタバミ	○		
チカラシバ	○		
カゼクサ	○		
カラスノエンドウ	○		
アカツメクサ	○		
アレチノハナガサ		○	○
オギ		○	○
ヨモギ		○	○
ククイモ		○	○
ハルシャギク		○	○
オカブジラミ		○	○
ナガバギシギシ		○	○
マメゲンバイナズナ		○	○
ユウゲショウ		○	○
コマツヨイグサ		○	○
クスダマツメクサ		○	○
シナダレスズメガヤ		○	○
コセンダングサ		○	○
種数合計	11	13	13